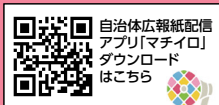


薩摩川内市 広報

5
May.2024

お知らせ版

Vol.471



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら



市公式LINE

市誕生 20 周年の節目に新たなスタート

4月1日(月)、市誕生 20 周年のロゴマークを施したタペストリーを本庁 2 階に設置しました。

4月3日(水)に婚姻届を提出した、則松圭吾さんと沙和さんは「市誕生 20 周年の年に結婚をしたということで、これから活発になっていく本市と一緒に、自分たちも 2 人で成長していきたいです」と話しました。



先人たちが残した景観 これからも

4月4日(木)、武家屋敷群入来麓地区で活動している入来花水木会が表敬訪問し、県主催「第 3 回あなたが選ぶかごしま景観大賞」優秀賞受賞を報告しました。

これは、県内の良好な景観形成に特に功績のあった団体などを表彰するもので、同会は、清掃活動やイベントの開催、景観整備の勉強会を行うなど、良好な景観形成への取り組みが評価されました。



文化芸能の交流華やかに

3月29日(金)から 4 日間、NPO 法人薩摩川内市文化協会の会員 34 人が、文化交流盟約を結ぶ韓国昌寧文化院を訪問しました。

昌寧文化院は、昨年開催した本市芸能祭で、華やかな演目を披露しました。今回の訪問では太鼓や日本舞踊の演目披露、書道の展示などを通して文化の交流を深めました。



【情報提供：NPO 法人薩摩川内市文化協会】

躍進！樋脇ホッケースポーツ少年団

4月4日(木)、U-12 ホッケー女子日本代表に選出された瀬戸山莉愛選手と樋脇ホッケースポーツ少年団の選手 15 人が表敬訪問しました。

瀬戸山選手は、3月に東京都で開催された U-12 ホッケーオールスター戦への出場、同少年団は、西日本 6 人制ホッケー選手権大会で、小学低学年の部優勝と小学男子 2 部第 3 位の成績を報告しました。



新たな国際交流員が着任

4月11日(木)、友好都市である中国江蘇省常熟市出身の陸宇宸さんが第 17 代薩摩川内市国際交流員に着任しました。

本市と友好都市との国際交流などを深めるため約 1 年間従事します。陸さんは、「薩摩川内市で働けることはすごく光栄で、両市の懸け橋になれるよう頑張りたい」と意気込みを述べました。

